

## 宮城県放射線管理士ニュース

### 【福島原発事故への対応】

平成 23 年 4 月 1 日

放射線管理・被ばく対策委員会  
放射線管理士班

#### 【福島原発事故への対応状況】

3月25日に宮城県の水道水の検査結果が公表され、続いて野菜の検査結果がでたことで、今週に入ってからの相談件数と、相談内容が明らかに変わってきました。

当初は検査結果の隠ぺいが疑われたり、早急に測定を行ってほしいという、要望、苦情、お叱りの電話が多かったのですが、今は不安を訴える相談が増えてきました。中には、日に何度も電話を掛けてくる方がいます。

多くの不安は被ばくに対する情報不足や誤解によるものなので、情報提供することで解消することができますが、早急に不安を解消しないと、心の問題として長く残ることが心配されます。不安解消の活動は一日でも早く行う必要があります。

そこで、今週に入り放射線管理士幹事を中心に最初の相談会実施に向けた準備を進めてきました。昨日開催された臨時常務理事会で、できるだけ早い時期での開催を説明した結果、4月3日（日）13時から最初の相談会を開催することになりました。急なことでしたが、放射線管理士幹事に加え、常務理事の方々も相談に対応して頂けることになりました。会場の確保、広報等、急ぎ手配した結果、仙台放送、河北新報から広報するとの連絡があり、第一回相談会実施に向けた準備が本日整いました。

宮城県の緊急被ばく医療マニュアルは女川原発の事故を想定したものですが、マニュアルを生かしながら福島原発事故に対応しています。今回改正されるマニュアルでは、保健師の皆さんと放射線技師と一緒に住民の相談に対応する予定だったのですが、中心となる石巻と女川の保健師の皆さんが被災したため、技師会単独での活動となっています。

県民の皆さまへの対応を宮城県でも検討しています。今回は技師会として仙台通信病院を会場として開催しますが、今後の具体的活動は今回の結果を見て進めていきます。宮城県との協力体制として、宮城県のトップページに今回の説明会が紹介されています。

説明会は、最初に講演を行い、続いて面談による個別対応を行います。これは、緊急被ばくにおける住民対応として、多数の住民への対応が検討課題としてあったため、試験的にこのようなプログラムとしました。

#### 【放射線管理士の皆さまへ】

4月3日の相談会ではさまざま反省点が出るものと思います。それらに対応しながら、できれば毎週開催したいと考えております。その他、県庁での電話相談にも対応しております。住民対応に協力頂ける方は村井まで連絡をお願い致します。施設への協力要請文書等必要な対応を致します。

村井：h.murai@sage.ocn.ne.jp